

主支那ノ富ヲ其力力口ニ植木ノ見之ヲ前比山國ニ別改業長仁  
種徳母。仕利師山國良也ト協力シ酒造同労働者長戸  
悦ニ市。甚レ依富早利ト後操徳付邊ニ其徳母信在佛上  
可成ノ嘆乳書クニ時主ニ要知ルコト法中ノ事書之例ニテノ案  
知レハ且其口心山國改業長仁ノ解在ノ文性シタルコト  
以、早ハ恒造

労働者信

一、嘆乳書ノ提出

山國ノ解在信ノ西野徳母山國良也山國増養ノ云在徳  
令新和ノ場ハ所業全日本製業労働者中支支却位  
者ノ一因在解在信ノ嘆乳書に於テ、理由ニ其目的物ニ於テ  
コノ中七段ノ場ニ業長仁位ノ揚々(其)業長仁位ノ業主  
ニ提出即刻回答ノ事ナリ

二、早カク解決ノ商儀

如ク事書之例ハ如妙ト見ニ必要トト稱シ即時返送シ  
為テ労働者側ノ一帝情謝シ合リヤ有レバ在村岡院中史  
通勸場完全生所ノ解在信ノ解在信ノ前比嘆乳書  
ノ再ニ事書之例ニ提出シテ其ハ付比)ノ在日午廿五分迄  
回答ノ事ナリト書ス

四、労働者側ノ意見

労働者ノ一再ニ嘆乳書ヲ提出シ受ケルニ付主側ハ  
ハ早カク二付ニ下、以テ法性乳書ノ取見シテ、其後其  
事下合見折衝ノ事不見シ。解在信ノ依テ工場主側ハ四者  
ノ兩三日ノ考案スレトシ、其ノ通シテモ、其ノ後ニシテ  
一先ツ法性ノ事ナリ

(四) 労働者側ノ意見